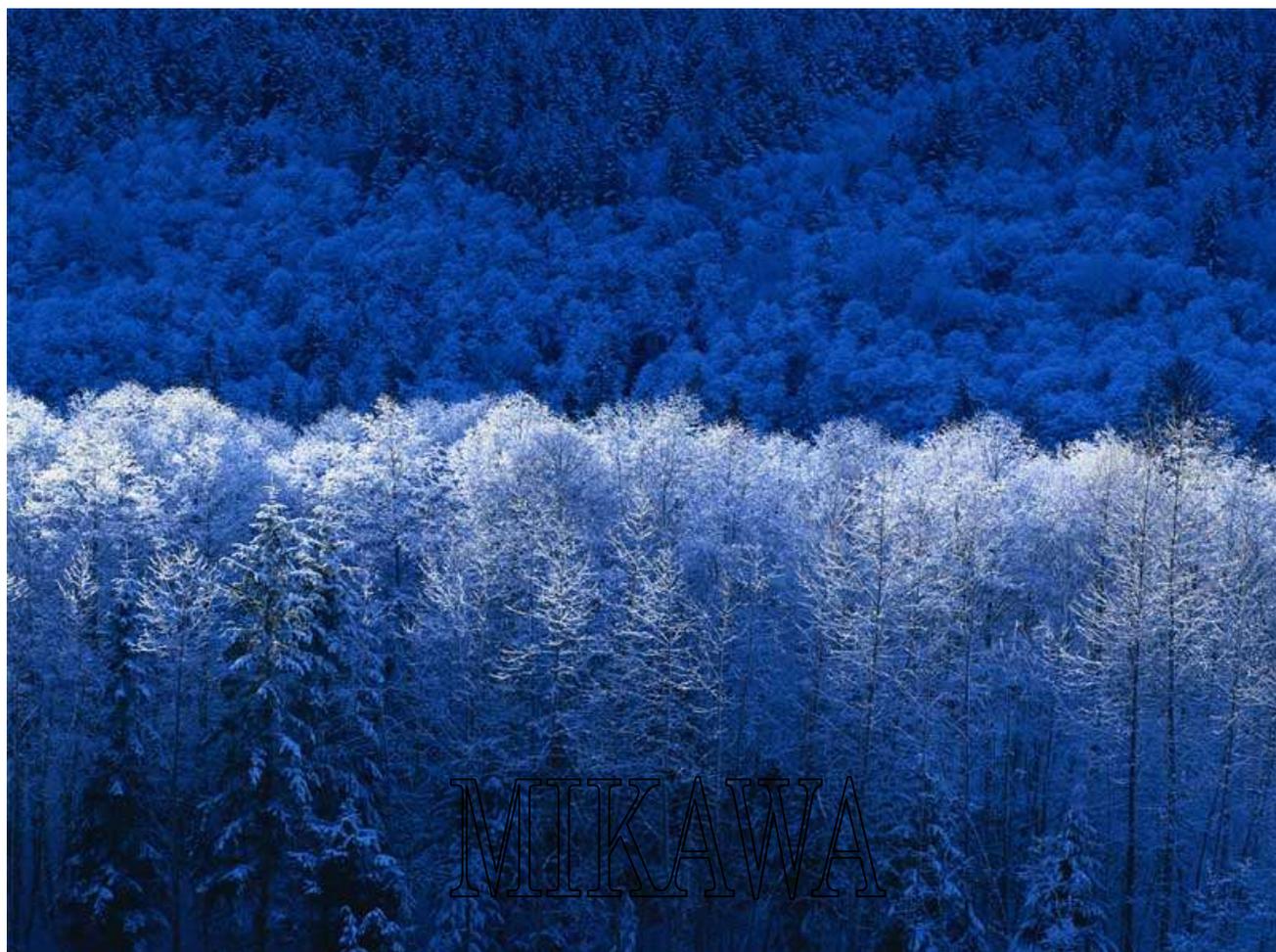


環境経営レポート

対象期間 2023年3月～2024年2月



発行日 2024年 3月31日

株式会社 美加川製作所

環境経営方針書

基本理念

株式会社美加川製作所は、事業運営の中において環境保全活動を推進すると共に、環境経営を通じて社会と自然にやさしい企業を目指します。

環境経営方針

1. 当社は、電磁継電器金属部品の熱処理加工及びその他部品製造組立において発生する環境負荷への継続的改善を推進してまいります。
2. 当社は、環境関連法に基づく法令・条例等及び顧客の要求事項を遵守します。
3. 当社は、事業運営の中において、以下の目的・目標を定め環境保全活動に取り組んでまいります。又、目的・目標に対しては1回/年の見直しを行います。
 - ① エネルギー（電気、LPG）使用量削減
 - ② 水道使用量削減
 - ③ 廃棄物の減量化
 - ④ 化学物質使用量の把握と適正な管理
 - ⑤ 熱処理炉の効率的稼働による環境負荷改善
4. 当社は、事業活動を通じて、環境保全に対する意識の向上と目標達成を、図るため全社員に対し教育を行ってまいります。
5. この環境方針書は必要に応じて一般に開示します。

2002年 7月 1日 制定

2020年 3月27日 改訂

株式会社 美加川製作所

代表取締役 高島 正幸

1. 取組の対象組織と活動内容

1) 事業者名及び代表者名

株式会社 美加川製作所

代表取締役 高島 正幸

2) 所在地

熊本県山鹿市久原4230-16

3) 環境管理責任者及び連絡先

責任者 森本洋春

連絡先 TEL 0968-44-7444

FAX 0968-43-2331

E-mail info@mikawa-ht.jp

4) 事業の内容（活動内容）

金属熱処理

マグネットリレー部品の磁性焼鈍、金型の焼入れ

その他部品製造組立の受託

但し、取り扱う製品そのものの企画・設計・製造・販売等はこれを含まない

事業の規模

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
従業員数	人	12	12	12
延べ床面積	m ²	1300	1300	1300

6) 事業年度

3月～翌年2月

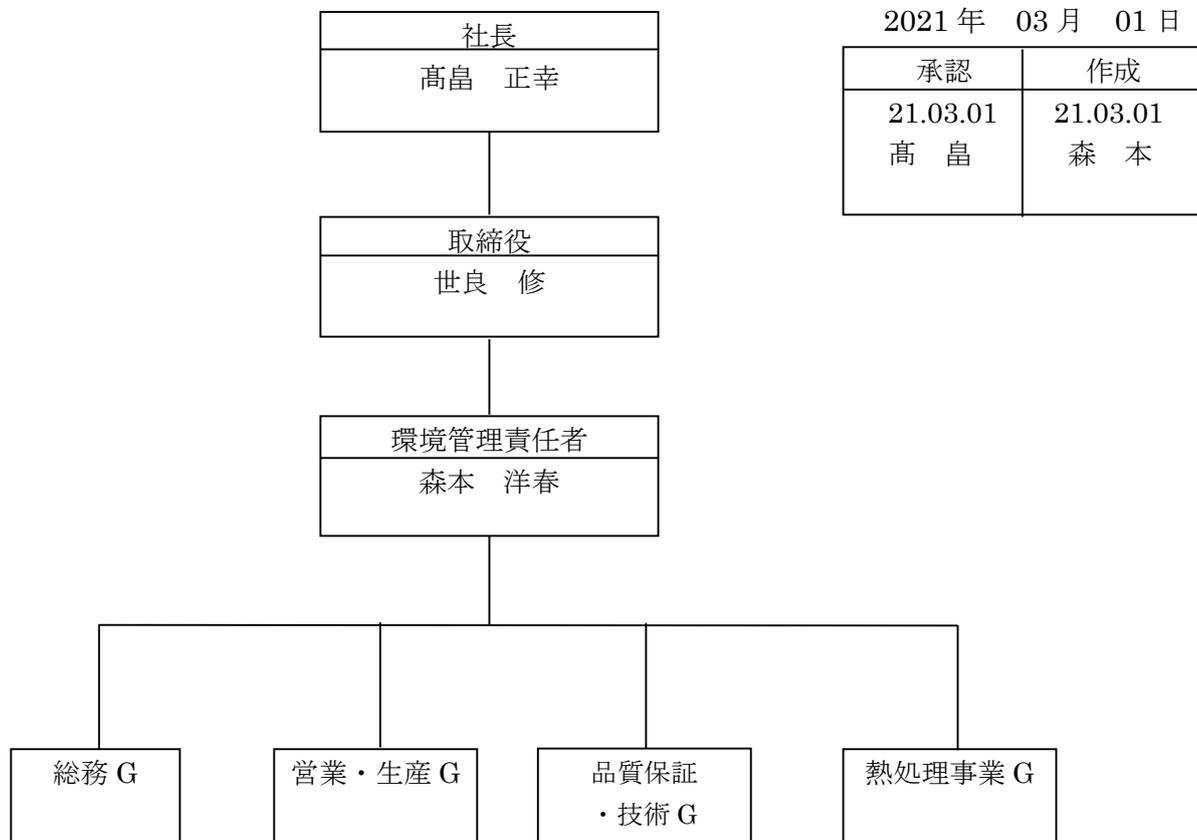
7) EA21 実施年度

2023年3月～2024年2月

8) 環境保全組織図

株式会社 美加川製作所

環境保全組織図



1) 環境保全組織の役割と権限

①社長

- ・ 環境方針の制定
- ・ 環境管理責任者の任命
- ・ EA21 推進に必要な資源の提供
- ・ 評価と見直し

②環境管理責任者

- ・ EA21 システムの構築 維持改善
- ・ 環境目標設定と進捗管理
- ・ 教育訓練の統括
- ・ 外部苦情の対応窓口

③部門長及び担当者

- ・ 緊急事態の対応
- ・ EA21 の目標達成に向けた活動
- ・ 改善のための提案

2. 2023年度環境経営目標（2023年3月～2024年2月）と実績及び評価

2.1 目標と実績

当社において2018年度実績値を削減基準として、環境負荷低減活動としてエネルギー消費量 {電力及びガス(LPG)} の使用量削減、産業廃棄物 {炭化水素系洗浄液使用量} の削減及び水使用量の削減その他環境負荷改善に取り組んだ結果を以下にまとめた。尚、電力の排出係数は2022年度公表の九州電力実係数(0.399)を使用した。

	項目	2022年度実績	目標値	2023年度実績	評価	
1	二酸化炭素(CO ₂) 総排出量 (以下、内訳)	476,682Kg-CO ₂	471,915Kg-CO ₂	393,892Kg-CO ₂	○	
①	電気使用量	CO ₂ 排出量 428,424Kg-CO ₂	424,140Kg-CO ₂	361,496Kg-CO ₂	○	
②	LPG 使用量	CO ₂ 排出量 40,500Kg-CO ₂	40,095Kg-CO ₂	24,000Kg-CO ₂	○	
③	ガソリン	CO ₂ 排出量 3,518Kg-CO ₂	3,483Kg-CO ₂	3,021Kg-CO ₂	○	
④	軽油	CO ₂ 排出量 4,240Kg-CO ₂	4,198Kg-CO ₂	4,848Kg-CO ₂	×	
⑤	灯油	CO ₂ 排出量 0Kg-CO ₂	0Kg-CO ₂	525.34Kg-CO ₂	×	
2	水使用量	実績値 3,436 m ³ /年	3,402 m ³ /年	2,886 m ³ /年	○	
3	廃油排出量の把握及びリサイクル	排出量	800 L/年		○	
		リサイクル率	100%	100%	100%	○
4	化学物質の購入量の把握と適正な管理	洗浄液(HC250)	1,600 L/年	1,600 L/年	1600 L/年	○
		硝酸(液体 ml)	1,000ml	購入量の把握と適正な管理の実施	1000ml 管理は適正だった	○
		メタノール	0g	購入量の把握と適正な管理の実施	0g 管理は適正だった	○
5	製品にかかる環境負荷改善	344/7h 98.0%削減	条件変更時のロス時間 90%以上削減	255/15h 94%削減	○	

〈 備考 〉

- 1) 廃棄物について、製品は顧客支給のため製品由来の廃棄物は発生しません。廃プラ(製品梱包)も把握しているが自助努力が困難なため目標にはしていない。
- 2) HC250(洗浄液)とは、脱油(脱脂)のための高機能炭化水素系洗浄剤のこと。(炭化は酸化の逆反応)
- 3) 硝酸とメタノールは、エッチング検査工程で使用する試薬(薬剤)です。
- 4) 製品により温度条件が異なるため、無駄のないロス時間を出さないものづくりをする。
- 5) 上記3の実績は設備廃棄によるものも含まれる。

2.2 主な環境活動計画、取組結果とその評価

	目標項目	主な活動計画	取り組み結果と評価
1	二酸化炭素(CO2) 総排出量の削減	以下の通り	以下の通り
①	電気使用量の削減	受注量に応じ使用設備の待機・停止を行う。 同時に待機電力も削減する。 エコサーバーを活用しピーク電力量の管理をする。	目標達成でき評価できる。次年度も継続したい。
②	L P G使用量の削減	生産量に応じ稼働設備減に努める。	目標達成でき評価できる。
③	ガソリン使用量の削減	効率的な営業ルート及び配送 アポイント訪問 eco 運転	目標達成でき評価できる。
④	軽油使用量の削減	効率的な配送ルート 他社便の有効活用 eco 運転	客先訪問増加の為、目標達成できなかった。
⑤	灯油使用量の削減	省エネ	前年度購入無し。今年度購入のため目標達成できなかった。
2	水使用量の削減	水道設備の保全を徹底する。 配管からの漏洩チェック、循環水の横溢確認をこまめに行う。	目標達成でき評価できる。
3	廃油（洗浄液） 排出量 リサイクル100%	排出量の適正管理を行う。 産廃業者へのリサイクル確認	目標達成でき評価できる。
4	洗浄液削減 (HC250 購入量)	設備からの漏れの有無を確認する。 購入量を把握する。	目標達成でき評価できる。
	化学物質の購入量の把握と適正管理 硝酸 メタノール	硝酸、メタノールの保管・表示・使用等にわたり適正な管理を実施する。	目標達成でき評価できる。
5	製品にかかる環境負荷改善	特殊条件を集積し、ロスの上を90%以上を削減する。	目標達成でき評価できる。

3. 今後の（単年度及び中期）環境経営目標

以下の項目を環境経営目標とする。

	項目	2024年度 目標値	2025年度 目標値	2026年度 目標値
1	二酸化炭素 総排出量の削減	前年度比1%減 393,892Kg-CO2（前年度実績） 389,953Kg-CO2（今年度目標）	前年度比1%減	前年度比1%減
①	電気使用量 の削減	前年度1%減 361,496Kg-CO2（前年度実績） 357,881Kg-CO2（今年度目標）	前年度実績比 1%減	前年度実績比 1%減
②	LPG使用量 の削減	前年度1%減 24,000Kg-CO2（前年度実績） 23,760Kg-CO2（今年度目標）	前年度実績比 1%減	前年度実績比 1%減
③	ガソリン使用量 の削減	前年度1%減 3,021Kg-CO2（前年度実績） 2,991Kg-CO2（今年度目標）	前年度実績比 1%減	前年度実績比 1%減
④	軽油使用量 の削減	前年度1%減 4,848Kg-CO2（前年度実績） 4,800Kg-CO2（今年度目標）	前年度実績比 1%減	前年度実績比 1%減
⑤	灯油使用量 の削減	前年度1%減 525,34Kg-CO2（前年度実績） 520.09Kg-CO2（今年度目標）	前年度実績比 1%減	前年度実績比 1%減
2	水使用料の削減	前年度10%減 2,886 m ³ /年（前年度実績） 2,857 m ³ /年（今年度目標）	前年度実績比 1%減	前年度実績比 1%減
3	廃油（洗浄液）排出量 の把握とリサイクル	排出量の把握 リサイクル 100%	排出量の把握 リサイクル 100%	排出量の把握 リサイクル 100%
4	HC250の購入量 の把握	1,600L/年	1,600L/年	1,600L/年
	硝酸・メタノールの 適正保管と購入量の 把握	適正な管理と 保管状況	適正な管理と 保管状況	適正な管理と 保管状況
5	製品にかかる 環境負荷の改善	92%削減（前年度実績） 255h（対策無しが無駄） 15h（対策後の無駄） 90%削減（今年度目標）	90.0%削減	90.0%削減

3.-1 次年度の具体的な取組内容

3-1-1 <電力消費量の削減>

受注状況に応じた設備停止による電力の削減と効率的な設備稼働を行う。
又、最大使用電力量を削減するために電力監視サーバーを活用する。

3-1-2 <LPG使用量の削減>

炉の併用を実施し使用ロスの削減に努める。

3-1-3 <水使用量の削減>

引き続き毎月配管からの漏洩チェックを行い設備冷却用循環水の横溢を確認し、
厳寒期は止水栓による断水を実施し配管破損による漏水を防止する。
クーリングタワーを更新する。工場内の一時保留水オレンジタンクの監視を強化する。

3-1-4 <廃棄物排出量の把握>

排出量の管理を徹底する。

3-1-5 <化学物質使用量の把握と適正な管理>

硝酸・メタノールの購入量を把握するとともに、適正な管理を実施する。

3-1-6 <製品にかかる環境負荷改善>

引き続き同条件集積によるロスの削減を実施記録する。削減目標90%以上。

4. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

4-1 環境関連法規の遵守及び違反の有無

当社は「環境関連法規遵守チェック表」を用いて2023年3月29日に環境法規制の
遵守活動を行い、マネジメントレビューでその遵守評価を行った
結果、遵守しており環境関連法規への違反はありませんでした。

4-2 指摘、訴訟等の有無

環境法規制の順守活動を通して、関係当局よりの違反等の指摘はありません。
また、周辺住民からの苦情もなく、訴訟についてもありません。

4-3 熊本県夏の省エネコンテスト表彰（2013年10月24日）

環境関連法規等遵守チェック表

*チェックは毎年3月に実施する。

調査実施日 2024年3月29日

適用を受ける施設・物質		適用法規	法規の要求事項	チェック
・浄化槽		浄化槽法	法定検査、定期検査、定期清掃の実施	○
(騒音) (振動) コンプレッサー		騒音規制法 振動規制法 フロン排出抑制法 熊本県生活環境保全条例	特定施設の届出 簡易点検	○
(廃棄物) 産業廃棄物 ・廃油・廃プラ		プラスチック資源循環促進法 廃棄物処理及び清掃に関する法律	保管場所表示、保管基準の順守	○
			運搬・処分業者との委託契約	○
			マニフェストの交付・回収	○
			マニフェスト交付状況の報告	○
(廃棄物)	・パソコン	リサイクル法	長期使用・再生資源の努力義務・適正処理	—
	・テレビ、エアコン	家電リサイクル法	買換時リサイクル料負担、適正処理	—
	・業務用自動車	自動車リサイクル法	車検又は買替時リサイクル料負担、 適正処理	—
	水銀灯(蛍光灯)	水銀に関する水俣条約 (廃棄物処理法)	水銀使用製品産業廃棄物の表示及び隔離	○
(毒物・劇物) 硝酸 メタノール		毒物及び劇物取締法	保管施設・容器への表示	○
			盗難・漏洩防止	○
(危険物) ・第二石油類・洗浄剤 (HC250)		消防法 ・少量危険物貯蔵庫(800ℓ)	屋内・外貯蔵所の届出	○
			保管管理基準の順守	○
・高圧ガス貯蔵設備		高圧ガス保安法	2011.10.4 第2種貯蔵所設置届出済み	○
業務用エアコン		フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検	○
冷凍機		フロン排出抑制法	簡易点検・定期点検(1/年)	○

5. 代表者による全体の評価と見直し

全体としてCO₂排出削減目標は概ね達成できたと評価する。

1. 2023年度実施出来たことは
 - ① 老朽化設備の整理により連続熱処理炉の効率運転の実現が出来て電力量削減につながった。
 - ② バッチ式熱処理炉を新たに導入し効率運転と受注拡大の体制を作り上げた。
2. 2024年度の取り組み
 - ① 連続熱処理炉は受注減による設備負荷減少に伴いさらなる効率運用をめざしていく。
 - ② 新規導入炉は単位重量当たりの電力量が低減できるので他設備からの移転運用を計り効率アップを計っていく。

-